

Message 先輩職員たちの声

行政 生活の基礎を支える調査を、地域の最前線で

西京区役所地域力推進室(令和5年度採用)

国勢調査に関する業務を担当しています。調査員説明会の実施や、市民・調査員からの問合せ対応、調査書類の回収・審査など、調査全般を担う仕事です。国勢調査は、国の政策立案や学術研究の基礎となる重要な統計であり、正確な実施が求められます。日々の業務を通じて、地域の実態を丁寧に把握することが、多くの人の役に立つ仕事であると実感しています。中でも、説明会で不安を抱える調査員の方に寄り添い、安心して調査に臨んでもらえたことは特に印象に残っています。職場は和やかで相談しやすく、休暇も取得しやすい環境です。今後もひとつひとつの業務に誠実に向き合い、異動を通じて幅広い経験を積みながら、京都市に貢献していきたいと考えています。



行政 子どもたちの学びを、環境整備の面から支える

教育委員会事務局教育環境整備室(令和5年度採用)

教育環境整備室は、学校園の施設や設備、用地に関わる業務を担当しています。校舍改修や体育館の空調整備といった大規模事業から学校園の維持管理まで幅広く携わり、子どもたちが安全で快適に過ごせる環境づくりを支えています。担当業務である樹木に関する相談を受けた際は、現地調査や資料確認を行い、上司や教職員と連携しながら迅速に対応することが求められます。自らの対応が児童生徒の安心・安全な教育環境づくりに直結する責任ある仕事であり、学校で子どもたちの笑顔を見ると大きなやりがいを感じます。今後も「一人一人の子どもを徹底的に大切に」という京都市の理念のもと、一つひとつの業務に真摯に向き合い、教育の面から京都市に貢献していきたいです。



行政 市民の足を支える、市バス運行の舞台裏

交通局自動車部運輸課(令和2年度採用)

市バス路線に関する業務を担当しています。お客様からの問合せや要望への対応に加え、混雑対策の検討やダイヤ改正時の国への届出、広報物の作成などを行っています。市民の移動を支える公共交通として、より便利で快適な市バスを目指し、日々お客様の声に耳を傾けながら業務に取り組んでいます。「便利になった」という声を直接いただいたときには、この仕事の意義とやりがいを強く実感します。また、小学生向けの乗車体験授業など、バスに親しんでもらうための企画にも携わり、市バスの魅力を幅広い世代に伝えることにも力を入れています。今後も市内のほとんどを網羅する市バス事業に携わり、多くの方にとって使いやすい持続可能な市バス運営の実現を目指し、日々の業務に取り組んでいきたいです。



福祉 一人ひとりに寄り添い、自立への一歩を支える

伏見区役所保健福祉センター健康福祉部生活福祉課(令和5年度採用)

生活保護に関する相談受付や保護費の支給事務、相談支援を担当しています。窓口対応や事務処理に加え、家庭や病院への訪問など外勤も行い、さまざまな事情を抱える方の生活に向き合っています。支援の目的は経済的な自立だけでなく、日常生活を自分で営める「身辺自立」を支えることです。信頼関係を築く中で困りごとを打ち明けてもらい、適切なサービスにつなげられたときに、この仕事の意義を実感します。担当していた引きこもりの方が、少しずつ外に出る機会を増やし、就労につながった経験は特に印象に残っています。今後も様々な福祉分野の職場を経験し、福祉のジェネラリストとして、幅広い経験を重ねていきたいと考えています。



職員採用専用HPで「先輩職員の声」を随時更新中！インタビュー動画もぜひ御覧ください！

[詳しくはこちら▶](#)



土木 まちの景観と安全を支える、無電柱化の仕事

建設局道路建設部道路環境整備課(令和3年度採用)

電線を地中に埋設し電柱を撤去する「無電柱化事業」を担当しています。美しいまち並みの創出や防災機能の向上、安全で快適な歩行者空間の確保を目的に、地下埋設物の状況や地域住民の意見を踏まえながら、関係機関や設計会社と協議を重ね、電線の埋設ルートなどを検討しています。無電柱化は計画から完成まで長い時間を要する事業で、すぐに成果が見える仕事ではありませんが、その分、京都の景観や安全を将来にわたって支える大きなプロジェクトに携わっているという責任感とやりがいを感じています。今後も土木職として知識と経験を積み重ね、京都の景観と安全を将来にわたって支える仕事に携わってまいります。



土木 市民の暮らしを支える、水道インフラの最前線

上下水道局水道部水道管路課(平成31年度採用)

水道管路の維持管理を担う部署の技術的な統括部署として、様々な業務に携わっています。配水管など水道施設の補修工事や、他企業工事に伴う支障移設工事の設計・積算、配水管材料に関する技術審査など、業務は多岐にわたります。発注した工事や検討を行った業務が無事に完成し、その成果が現場に反映されていく過程を通じて、市民の生活を支える重要なライフラインを担っている実感があります。業務の中では、日々の会話や助言から新たな気づきが得られることも多く、学びを仕事にいかせる点もこの職場の魅力です。今後は分野にとらわれず幅広い経験を積み重ね、多角的な視点で京都市の上下水道事業を支えていきたいと考えています。



建築 法の視点から、京都の建築を守る

都市計画局建築指導部建築審査課(令和5年度採用)

建築基準法に基づき、建物計画の審査を行っており、意匠、設備、構造の3つの担当のうち、私は構造審査を担当しています。構造審査では、地震等の非常時にも安全性が確保できている計画かを確認します。私の業務は建築基準法に基づくものが主ですが、京都市ではその他に独自の規定も多く、歴史的な街並みを守りながら、新たな建物を建築する制度となっていることを強く感じます。京都市で働くこと、それぞれの制度がどのような思いで作られているかを実感でき、新たな視点でまちを見ることができるようになります。今後も関係者との対話を重ねながら、京都の建築を守るため、京都らしい景観の継承と更新に向き合っていきたいです。



電気 地下鉄の安全運行を支える、電気設備の仕事

交通局高速鉄道部電気課(令和4年度採用)

地下鉄東西線の安全輸送を支える保守管理を担当しています。信号や通信、駅や車両へ電力を供給する回路設備など、運行に欠かせない設備について、点検・検査の監督や更新工事の立会、故障時の対応を行っています。電車線の故障発生時に地下鉄トンネル内で現場調査を行った経験は特に印象に残っています。列車が行き交う緊張感のある環境の中で、安全を最優先に原因を確認し、復旧につなげました。設計から工事、保守まで一連の工程に発注者として関われる点も、この仕事ならではの特徴です。設備理解を深めながら、市民の安心な移動を支える責任と使命感を感じ、今後も地下鉄の安全輸送の確保に向けて、現場に向き合い続けていきたいです。

